

# 第3回淡路島付近を震源とする地震に関する 関係省庁災害対策会議

## 議 事 次 第

日時：平成25年4月15日（月）

17:00～

場所：内閣府防災A会議室

1. 古屋内閣府特命担当大臣（防災）訓示
2. 西村内閣府副大臣（防災担当）による現地調査報告
3. 被害状況及び各省庁の対応・支援状況について
4. その他



平成25年4月15日

内閣府（防災担当）

## 西村内閣府副大臣の淡路島付近を震源とする地震に係る 現地調査について（報告）

### 1 概要

西村内閣府副大臣は、淡路島付近を震源とする地震による被害状況及び現地の対応状況等を把握するため、内閣府職員と被災地淡路島の現地調査を実施するとともに、兵庫県及び被災した地元自治体を訪問し、情報収集及び首長等との意見交換等を行いました。

### 2 調査日

平成25年4月13日（土）～14日（日）

### 3 調査先（別紙1参照）

神戸市、<sup>すもと</sup>洲本市、<sup>みなみ</sup>南あわじ市、<sup>あわじ</sup>淡路市

### 4 調査結果の概要（別紙2参照）

4月13日 兵庫県、洲本市、南あわじ市及び淡路市の災害対策本部を訪問し、本部会議に同席するなどして情報収集を行うとともに、井戸兵庫県知事他各自治体の首長等と意見交換を行いました。

また、洲本市・淡路市の市街地における住家の被災状況、淡路市生穂<sup>いくほ</sup>漁港の段差や沈下の状況、淡路市沿岸部の液状化被害状況、洲本第一小学校のグラウンドの亀裂状況等の調査を行いました。

4月14日 淡路市立多賀小学校の校舎周辺の段差等の状況、三宅谷池（農業用ため池）の堤体天端の亀裂等の状況、津名流水プールの天井崩落状況、室津漁港・洲本港の段差や沈下の状況等を調査しました。

## 西村内閣府副大臣の

## 淡路島付近を震源とする地震に係る現地調査先

【4月13日(土)】

現 地 調 査 先	備考
(6:45 第1回会議) 兵庫県災害対策本部 (情報収集、本部会議同席及び井戸知事との意見交換)	神戸市
(8時頃～) 淡路市災害対策本部 (情報収集、本部会議同席及び <sup>かど</sup> 門市長との意見交換)	淡路市
(9時過ぎ～) 洲本市災害対策本部 (情報収集、本部会議同席及び竹内市長との意見交換)	洲本市
(11時過ぎ～) 南あわじ市災害対策本部 (情報収集及び中田市長との意見交換)	南あわじ市
(13:30頃～) 兵庫県淡路県民局 (情報収集及び安倍局長との意見交換)	洲本市
いくほ 生穂漁港等漁港被害状況調査 (段差、沈下等)	淡路市
淡路市沿岸部状況調査 (液状化)	淡路市
淡路市市街地住家等被災状況調査 ( <sup>しづき</sup> 志筑地区等)	淡路市
洲本市立洲本第一小学校被害状況調査 (グラウンド亀裂等)	洲本市
洲本市市街地住家等被災状況調査 ( <sup>たけのくち</sup> 炬口地区等)	洲本市
洲本市 <sup>たけのくち</sup> 炬口地区がれき置き場状況調査	洲本市

【4月14日(日)】

現 地 調 査 先	備考
洲本市中心部被災状況調査 (住家、公園、道路上の石鳥居等)	洲本市
洲本市立淡路文化資料館被害状況調査 (石垣崩落)	洲本市
洲本市避難所 (洲本市総合福祉会館) 状況調査	洲本市
淡路市立多賀小学校被害状況調査 (段差、隆起等)	淡路市
三宅谷池 (農業用溜池) 被害状況調査 (堤体天端の亀裂等)	淡路市
津名流水プール被害状況調査 (天井崩壊)	淡路市
むろつ 室津漁港及び洲本港被害状況調査 (段差、沈下等)	淡路市・洲本市

# 西村内閣府副大臣の淡路島付近を震源とする地震 に係る現地調査について（報告）

## 1. 平成 25 年 4 月 13 日（土）



知事とともに液状化状況を調査【淡路市内】



淡路市災害対策本部会議【淡路市役所】



路面隆起後の仮復旧状況を調査【淡路市内】



荷捌き場の段差を調査【淡路市生穂漁港】



グラウンドの亀裂を調査【洲本第一小学校】



液状化の状況を調査  
【淡路ワールドパークONOKORO】



市街地の住家の被災状況を調査【淡路市内】



市街地の住家の被災状況を調査  
【洲本市内（炬口地区）】

## 2. 平成 25 年 4 月 14 日（日）



鳥居の一部崩落状況を調査【洲本市内】



市街地の住家の被災状況を調査  
【洲本市内（下内膳地区）】



ため池の堤体天端の亀裂を調査【淡路市三宅谷池】



同左

平成 25 年 4 月 15 日  
気 象 庁

### 平成 25 年 4 月 13 日 05 時 33 分ころの淡路島付近の地震について

#### ○ 震源及び規模等

- ・発生日時 平成 25 年 4 月 13 日 5 時 33 分
- ・場所 淡路島付近（北緯 34 度 25.1 分、東経 134 度 49.7 分）、深さ 15km（暫定値）
- ・規模 マグニチュード 6.3（暫定値）
- ・最大震度 6 弱（兵庫県淡路市）

#### ○ 余震活動の状況と今後の見通し

15 日 16 時 00 現在、震度 1 以上の余震は 17 回観測されている。（最大震度 3）

地震発生直後に比べ余震の数は減ってきているが、地震発生から 1 週間程度は、最大震度 5 弱程度の余震の発生に注意が必要。

#### ○ 気象の見通し【兵庫県】

##### 1) 今夜（15 日）の気象状況

高気圧に覆われて晴れる見込み。

##### 2) 明日（16 日）の気象状況

高気圧に覆われて晴れるが、気圧の谷が近づくため、夜は雲が広がる見込み。

##### 3) 明後日（17 日）から 22 日にかけての気象状況

気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすい見込み。

#### ○ 防災上の留意事項

揺れの強かった地域では、家具の転倒や土砂災害などの危険性が高まっているおそれがあるので、今後の余震活動に十分注意する必要がある。

#### ○ 気象庁の対応

- ・被害及び地震動の調査のため、大阪管区气象台、神戸海洋气象台、高松地方气象台から気象庁機動調査班（JMA-MOT）を現地に派遣。被害状況の調査を行ったほか、震度観測点の環境に問題がないことを確認した。調査結果の詳細は機動調査班を派遣した各官署のホームページに掲載。
- ・淡路市及び南あわじ市の土砂災害警戒情報発表基準及び大雨警報・注意報の発表基準を引き下げて運用。  
暫定基準：淡路市（通常基準の 6 割）、南あわじ市（通常基準の 8 割）
- ・神戸海洋气象台から兵庫県及び淡路島 3 市（淡路市、洲本市、南あわじ市）に対して気象支援資料を提供。

## 淡路島付近を震源とする地震（第14報）

平成25年4月14日（日）19時30分  
消 防 庁 災 害 対 策 本 部

### 1 地震の概要（気象庁：暫定値）

- (1) 発生日時 平成25年4月13日 5時33分頃
- (2) 震央地名 淡路島付近（北緯34度25.1分、東経134度49.7分）
- (3) 震源の深さ 15km
- (4) 規 模 マグニチュード6.3
- (5) 各地の震度（震度5弱以上）
  - 震度6弱 兵庫県：淡路市
  - 震度5強 兵庫県：南あわじ市
  - 震度5弱 大阪府：岬町
  - 兵庫県：洲本市
  - 徳島県：鳴門市
  - 香川県：東かがわ市、小豆島町
- (6) 津 波 この地震に伴う海面変動は観測されなかった。

### 2 被害の状況

#### (1) 人的被害（重傷者7人、軽傷者19人）

- 福井県（重傷者1人）
  - ：敦賀市 重傷者1人
- 大阪府（重傷者1人、軽傷者4人）
  - ：堺市 軽傷者2人
  - ：茨木市 軽傷者1人
  - ：摂津市 軽傷者1人
  - ：大阪狭山市 重傷者1人
- 兵庫県（重傷者5人、軽傷者12人）
  - ：神戸市 軽傷者1人
  - ：姫路市 軽傷者1人
  - ：明石市 重傷者1人、軽傷者1人
  - ：洲本市 軽傷者6人
  - ：伊丹市 重傷者1人
  - ：三木市 重傷者1人
  - ：南あわじ市 重傷者1人、軽傷者1人
  - ：淡路市 重傷者1人、軽傷者2人
- 岡山県（軽傷者1人）
  - ：岡山市 軽傷者1人
- 徳島県（軽傷者2人）
  - ：徳島市 軽傷者1人
  - ：阿南市 軽傷者1人

#### (2) 物的被害

##### ○住家被害

- ・半壊
  - 兵庫県洲本市：26棟
- ・一部破損
  - 大阪府阪南市：4棟
  - 兵庫県洲本市：1,222棟
  - 明石市：1棟
  - 南あわじ市：55棟

- 淡路市：508棟  
 徳島県北島町：1棟  
 ○非住家被害  
 ・半壊  
 兵庫県洲本市：8棟

(3) その他被害

現在のところ原子力発電所関係施設から被害情報なし  
 大阪府大阪市において断水15件 → 復旧済み  
 兵庫県洲本市内において水道管破裂8件及び断水20箇所 → 復旧済み  
 兵庫県淡路市内において水道管破裂及び断水 → 復旧済み  
 徳島県阿南市において水道管破裂1件 → 復旧済み

3 地方公共団体における災害対策本部等の設置状況

大阪府	5時33分	防災・危機管理警戒本部設置 → 10時30分 防災・危機管理指令部に移行 → 13時10分 廃止
兵庫県	5時33分	災害対策本部設置
奈良県	5時33分	2号警戒配備体制 → 8時30分 1号警戒配備体制に移行 → 10時00分 解除
徳島県	5時33分	災害対策警戒本部設置 → 12時00分 災害対策連絡本部に移行 → 19時00分 廃止
岡山県	5時33分	2号警戒体制配備 → 12時30分 解除

4 消防機関の主な活動状況

4月13日

6時54分	大阪市消防ヘリが離陸	情報収集中	→	8時38分着陸
7時03分	京都市消防ヘリが離陸	情報収集中	→	8時30分着陸
7時04分	神戸市消防ヘリが離陸	情報収集中	→	9時10分着陸
7時05分	香川県防災ヘリが離陸	情報収集中	→	8時35分着陸
			→	9時10分離陸
			→	10時40分着陸
7時15分	徳島県防災ヘリが離陸	情報収集中	→	8時25分着陸

5 消防庁の対応

震度5弱以上を観測した兵庫県、大阪府、徳島県及び香川県に対し、適切な対応及び被害報告について要請するとともに、震度5弱以上を観測した消防本部に直接被害状況の問い合わせをした。

対応状況は以下のとおりである。

4月13日	消防庁災害対策本部継続中（本部長：長官／第3次応急体制）
5時45分	兵庫県、大阪府、徳島県及び香川県に対し、適切な対応及び被害報告について要請
5時50分	震度5強以上を観測した消防本部に対し、119番通報及び被害状況を確認
6時10分	香川県から第1報受領 「被害調査中」
6時30分	兵庫県、徳島県から被害情報なし
6時51分	大阪府から第1報受領 「被害調査中」
7時03分	兵庫県淡路広域消防事務組合消防本部に状況を確認 「119番救急通報5件入電」



## 6 緊急消防援助隊

4月13日

- 6時13分 緊急消防援助隊の出動準備を要請
- 6時32分 現在、緊急消防援助隊の要請なし
- 7時12分 緊急消防援助隊の要請予定なし
- 8時00分 兵庫県から緊急消防援助隊の要請なし（最終確認）  
各都府県の出動準備を解除

## 7 政府の対応

4月13日

- 5時36分 官邸対策室設置、緊急参集チーム招集
- 5時40分 総理指示
  - 1 被害情報の確認に万全を期すこと
  - 2 被害者の救出・救助活動に全力を尽くすこと
- 6時10分 緊急参集チーム協議開始 → 7時00分終了
- 8時58分 緊急参集チーム協議開始 → 9時08分終了
- 13時00分 第1回関係省庁災害対策会議開始 → 13時30分終了  
対処方針
  - 1 引き続き早急な被害状況の把握を行い、関係機関の情報共有を図ること
  - 2 更なる被害の拡大の防止に万全を期すこと
  - 3 被災県、関係市町村と連携し、災害応急対策につき、政府一丸となった対応を行うこと
- 17時00分 第2回関係省庁災害対策会議開始 → 17時20分終了

問い合わせ先

消防庁災害対策本部 広報班

TEL 03-5253-7527

FAX 03-5253-7537

## 海上保安庁 淡路島付近における 地震対応状況

平成25年4月15日午後1時00分現在

## 海上保安庁の対応について

## 1. 体制

- 午前5時36分 官邸対策室設置
- 午前5時36分 海上保安庁対策本部設置
- 午前5時36分 第五管区海上保安本部に対策本部設置

## 2. 被害状況

四管区、五管区（大阪湾内重要施設、淡路島周辺港湾等に被害情報なし。）、六管区及び八管区 被害に関する情報なし。

## 3. 対応状況

## (1) 13日

巡視船艇29隻、航空機4機による被害状況調査終了、被害に関する情報なし。

## (2) 14日及び15日

巡視船艇及び航空機を即応態勢とし、被害情報を収集中。

## 4. 航行警報の発出状況

午前5時41分 航行警報 発出

## 5. 避難勧告等実施状況

各港における避難勧告等実施なし。

## 6. 当庁施設等の被害状況

## (1) 船艇

被害に関する情報なし。

## (2) 航空機

被害に関する情報なし。

## (3) 通信施設

被害に関する情報なし。

## (4) 施設

被害に関する情報なし。

## (5) 航路標識

被害に関する情報なし。

以上

## 淡路島付近を震源とする地震による被害情報

※これは速報値であり、数値等は今後も変わることがある。

## 1. 地震情報 (4月13日05時48分 気象庁発表)

- 発生日時 : 平成25年4月13日(土) 5時33分頃
- 震源 : 淡路島付近(北緯34.4度、東経134.8度)、深さ 約10km
- 地震規模 : マグニチュード6.0 (推定)
- 各地の震度 (震度4以下は省略) :

震度6弱		淡路市
震度5強	兵庫県	南あわじ市、淡路市
		洲本市、南あわじ市、淡路市
震度5弱	大阪府	大阪岬町
	徳島県	鳴門市
	香川県	東かがわ市、小豆島町

※この地震による津波の心配はなし。

## 2. 文部科学省関係の被害情報 (4月15日14時00分時点)

## (1) 人的被害

- ・目下確認中だが、現在のところ、被害の情報なし。

## (2) 物的被害

都道府県名	国立学校施設 (校)	公立学校施設 (校)	私立学校施設 (校)	社会教育・体育、 文化施設等 (施設)	文化財等 (件)	研究施設等 (施設)	計
兵庫県		36	4				40
香川県		1					1
計		37	4				41
2県		小 中 高 特 大 27 6 2 1 1	中 高 その他 1 1 2				

- ・主な被害状況:グラウンド亀裂発生、天井ボード落下、壁ひび割れ 等

※なお、現在のところ、休校等の情報なし

## 3. 文部科学省の対応

- ・文部科学省災害情報連絡室(室長:施設企画課長)を設置(4月13日7時10分)。
- ・兵庫県、大阪府、徳島県、香川県教育委員会に対し、児童生徒等の安全確保と文教施設の被害状況の把握、二次災害防止を要請(4月13日7時12分)。
- ・淡路島付近を震源とする地震に関する関係省庁災害対策会議(第1回)に防災推進室長が出席(4月13日13時00分)。
- ・淡路島付近を震源とする地震に関する関係省庁災害対策会議(第2回)に防災推進室長が出席(4月13日17時00分)。

## 4. 今後の対応

- ・引き続き教育委員会等と連携を密にしつつ、被害状況等の収集に努める。

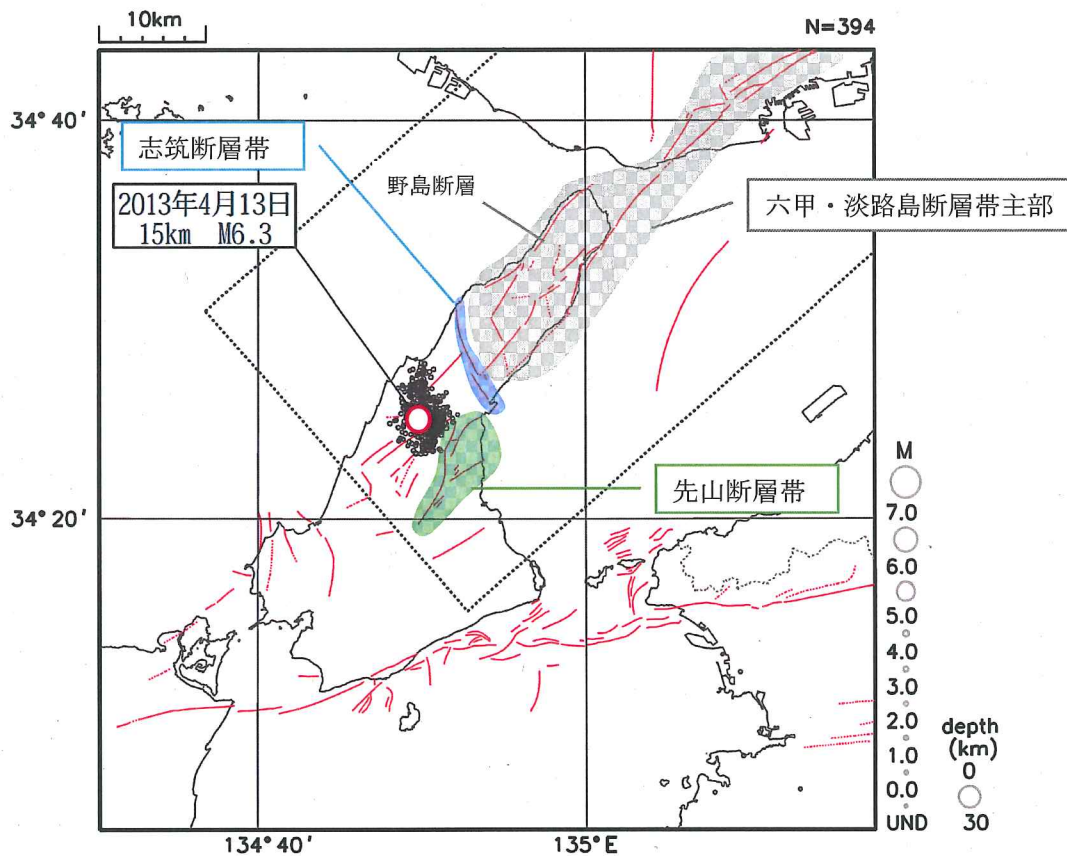
<担当> 文教施設企画部施設企画課防災推進室 室長 森 政之(内線2988) 専門官 松下 洋介(内線3674)
--

平成25年4月14日  
地震調査研究推進本部  
地震調査委員会

### 2013年4月13日 淡路島付近の地震の評価

- 4月13日05時33分に淡路島付近の深さ約15kmでマグニチュード(M)6.3の地震が発生した。この地震により兵庫県で最大震度6弱を観測し、被害を伴った。その後、地震活動は本震-余震型で推移しており、4月14日09時現在までの最大の余震は13日05時41分頃に発生したM3.8(速報値)の地震で、最大震度3を観測した。
- この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内の地震である。今回の地震の余震分布と本震の発震機構から推定される震源断層は南北方向に延びる西傾斜の逆断層であった。この地震は、「平成7年(1995年)兵庫県南部地震」の余震域の南西端に近接する領域で発生した。
- GNSS観測の結果によると、本震の発生に伴って、洲本観測点(兵庫県)でわずかな地殻変動が観測されている(暫定)。
- この震源域南部に近接して六甲・淡路断層帯の一部である先山(せんざん)断層帯が存在している。地震調査委員会は、この先山断層帯について、全体が活動するとM6.6程度の地震が発生する可能性があるとして評価していたが、今回の地震とこの断層帯との関係については不明である。

## 淡路島付近の地震と活断層



図中の断層（赤線）は、「新編 日本の活断層」（活断層研究会）による

断層帯名 (起震断層/活動区間)	長期評価で 予想した 地震規模 (マグニチュード)	我が国の 主な 活断層に おける 相対的評価	地震発生確率 (注1)			地震後 経過率 (注2)	平均活動間隔
			30年以内	50年以内	100年以内		最新活動時期
六甲・淡路島断層帯 (先山断層帯)	6.6程度		ほぼ0%	ほぼ0%	ほぼ0%	0.04-0.2	5,000年-10,000年程度 11世紀-17世紀初頭

平成25年4月15日  
農 林 水 産 省

## 淡路島付近を震源とする地震による被害状況等について

(※これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。)

### 1 農林水産関係被害の概要 (4月15日 14:00現在)

区分	主な被害	被害数	被害額 (百万円)	被害地域 (現在1県から報告あり)
農作物等	ブロイラー の圧死	1,693羽	調査中	兵庫県
	ガラス温室 の損傷	15棟	調査中	兵庫県
	家畜市場の 損傷	1箇所	調査中	兵庫県
小計			調査中	
農地・農 業用施設 関係	農業用施設 の損壊 (た め池)	12箇所	調査中	兵庫県
小計			調査中	
水産関係	漁船	3隻	調査中	兵庫県
	漁港	8漁港	調査中	兵庫県
	共同利用施 設 (荷捌き 施設)	1棟	調査中	兵庫県
小計			調査中	
合計			調査中	

注：被害については、現時点で判明しているものを記載しており、引き続き調査中。

### 2 農林水産省の対応

- (1) 農業用施設の現地調査のため、近畿農政局の職員8名を派遣  
(4月13日)
- (2) 連絡調整のため、近畿農政局の職員3名を兵庫県庁に派遣  
(4月13日)
- (3) 農業用施設の現地調査のため、農林水産本省担当官2名、近畿農政局  
の職員2名及び農村工学研究所の専門家2名を派遣 (4月15日)

### 3 被害に対する支援

区分	主な被害	内容
農作物等	ブロイラーの圧死	政策金融による長期・低利の融資を用意。
	ガラス温室の損傷	共済加入者に対しては共済金の支払い。 共済に加入していない農業者を含めて、政策金融による長期・低利の融資を用意。
	家畜市場の損傷	「農林水産業共同利用施設災害復旧事業」により、復旧に要する経費の一部を補助。
農地・農業用施設関係	農業用施設の損壊（ため池）	(1) 現地調査のため、水土里災害派遣隊として本省担当官2名、近畿農政局職員10名、農村工学研究所の専門官2名を派遣。 (2) ため池の復旧については、「農業用施設災害復旧事業」により、復旧に要する経費の一部を補助。
水産関係	漁船	漁船については、漁船保険に加入し、保険事故の確認が行われれば保険金を支払い。
	漁港	漁港施設の復旧については、「公共土木施設災害復旧事業」により、復旧に要する経費の一部を負担。
	共同利用施設（荷捌き施設）	「農林水産業共同利用施設災害復旧事業」により、復旧に要する経費の一部を補助。

平成25年(2013年)淡路島付近を震源とする地震の状況  
第6報(4月15日16時00分現在)

平成25年4月15日  
経済産業省

4月13日(土)5時33分頃発生した淡路島付近を震源とする地震による、経済産業省  
関連の被害状況等は、現時点で把握している限りで、以下の通り。

1. ライフライン関係

(1) 電力

- 関西電力(株)  
設備被害等なし
- 四国電力(株)  
設備被害等なし
- 中国電力(株)  
設備被害等なし
- 電源開発(株)  
設備被害等なし

(2) 都市ガス

被害情報なし

(3) LPガス

被害情報なし

(4) 簡易ガス

- ・兵庫県の簡易ガス事業者特定製造所内の感震自動遮断装置が作動、合計3社6団地で  
供給停止(計800戸程度)、全て復旧済み。

2. 産業関係

被害情報収集中。

3. その他

- 近畿経済産業局庁舎は、現在のところ異常なし。
- 当省職員を兵庫県淡路島に派遣し、中小企業関係被害情報収集を実施(4月13日、14日)



**災害情報**  
 平成25年4月15日 13:00作成  
**国土交通省**

淡路島付近を震源とする地震について(第9報)

1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省  北陸地方整備局  中部地方整備局  近畿地方整備局  四国地方整備局  中国地方整備局  九州地方整備局	4月13日 5:33 4月13日 18:30 4月14日 11:00 4月13日 5:33  4月13日 5:33 注意体制 4月13日 15:00 体制解除 4月13日 5:33 注意体制 4月13日 15:00 体制解除 4月13日 5:33 非常体制 4月13日 18:30 警戒体制 4月13日 21:00 注意体制 4月14日 14:30 体制解除 4月13日 5:33 警戒体制 4月13日 11:00 体制解除 4月13日 5:33 注意体制 4月13日 12:30 体制解除 4月13日 5:33 注意体制 4月13日 6:55 警戒体制 4月13日 15:25 注意体制 4月14日 15:10 体制解除	非常体制 警戒体制 注意体制 淡路島付近を震源とする地震に関する 災害対策本部設置  近畿運輸局  神戸運輸監理部  四国運輸局  中国運輸局  国土地理院  気象庁	4月13日 5:44 警戒体制 4月13日 15:45 注意体制 4月13日 5:44 非常体制 4月13日 13:05 警戒体制 4月14日 11:00 体制解除 4月13日 5:33 警戒体制 4月13日 12:00 体制解除 4月13日 5:33 注意体制 4月13日 13:00 体制解除 4月13日 5:33 非常体制 4月13日 18:30 警戒体制 4月14日 11:00 注意体制 4月13日 5:33 非常体制 4月13日 18:00 体制解除
--	---	---	--

2. 地震の概要

- 発生日時 平成25年4月13日5時33分
- 震源地 淡路島付近(北緯34度25.1分、東経134度49.7分)(暫定値)
- 震源の深さは15km、地震の規模(マグニチュード)は6.3と推定(暫定値)
- 各地の震度(震度5弱以上) \* 印は気象庁以外の震度観測点についての情報です

震度6弱	兵庫県	淡路市郡家 *	淡路市志筑 *	
震度5強	兵庫県	南あわじ市広田 *	南あわじ市湊 *	淡路市久留麻 *
震度5弱	兵庫県	洲本市小路谷	洲本市五色町都志 *	南あわじ市福良
		淡路市中田	淡路市富島	
	大阪府	大阪岬町深日 *		
	徳島県	鳴門市鳴門町 *		
	香川県	東かがわ市湊 *	小豆島町安田 *	

○この地震による海面変動は観測されていない。

○地震発生直後に比べ余震の数は減ってきているが、地震発生から1週間程度は、最大震度5弱程度の余震の発生に注意が必要である。

### 3. 国土交通省の対応

○5:33 非常体制 淡路島付近を震源とする地震に関する災害対策本部設置

○7:00 淡路島付近を震源とする地震に関する災害対策本部会議(第1回)を事務次官をヘッドに開催。

○8:00 淡路島付近を震源とする地震に関する災害対策本部会議(第2回)を開催  
(太田大臣、鶴保副大臣、梶山副大臣、松下政務官、坂井政務官ご出席)

大臣より指示

1 河川、道路、鉄道、港湾等の所管施設については、被害情報の収集に万全を期し、被害が生じている場合は迅速に応急対応を進めること

2 被害の状況に応じ、TEC-FORCEや災害対策用車両及び専門家の派遣の準備を早急に進めること。

3 被災した地方自治体の支援の実施に当たっては、支援内容を早急に把握し地方自治体と緊密な連携を図って進めること。

4 被災地の住民をはじめ、国民や地方自治体、関係機関が適切に判断し行動できるよう、的確に情報提供すること。

○国土交通省の現在の対応状況

・所管施設等について点検(4/13)。

・防災ヘリコプター(四国、九州地整)により、TEC-FORCE(先遣隊)が淡路島上空を調査。(4/13)

・近畿地方整備局より、兵庫県庁、洲本市、淡路市、南あわじ市へ計8名リエゾン派遣。(4/13~4/14)

○国土地理院

電子基準点「洲本」(洲本市宇山)においてわずかな水平変動が検出された。  
(ただし、地震の影響による電子基準点の傾斜が地殻変動のごく一部として含まれている可能性があります。)

○土木研究所

4/15 近畿地方整備局から、洲本市州浜橋の被害に関する派遣依頼があり、  
明日16日に専門家2名を派遣予定

### 4. 政府の対応

○13日5:36官邸対策室設置 緊急参集チーム招集

○13日5:40総理指示

(総理指示)

①被害情報の確認に万全を期すこと

②被害者の救出・救助活動に全力を尽くすこと

○13日6:10第1回緊急参集チーム協議開始(~7:00)

(官房長官、防災担当大臣、政務・事務官房副長官出席)

○13日8:58第2回緊急参集チーム協議開始(~9:08)

(防災担当大臣、政務・事務官房副長官出席)

○13日13:00第1回災害対策関係省庁連絡会議を開催

○13日17:00第2回災害対策関係省庁連絡会議を開催

○15日17:00第3回災害対策関係省庁連絡会議を開催予定

## 5. 海上保安庁の対応

### ○体制

午前5時36分 海上保安庁対策本部設置

午前5時36分 第五管区海上保安本部に対策本部設置

### ○被害状況

四管区、五管区(大阪湾内重要施設、淡路島周辺港湾等に被害情報なし。)、六管区及び八管区被害に関する情報なし。

### ○対応状況

#### (1)13日

巡視船艇29隻、航空機4機による被害状況調査終了、被害に関する情報なし。

#### (2)14日及び15日

巡視船艇及び航空機を即応態勢とし、被害情報を取集中。

### ○対応勢力

巡視船艇 29隻(巡視船6隻、巡視艇23隻)

航空機 4機(固定翼機2機、回転翼機2機)

### ○航行警報の発出状況

午前5時41分 航行警報 発出

### ○避難勧告等実施状況

各港における避難勧告等実施なし。

### ○当庁施設等の被害状況

(1)船艇 被害に関する情報なし。

(2)航空機 被害に関する情報なし。

(3)通信施設 被害に関する情報なし。

(4)施設 被害に関する情報なし。

(5)航路標識 被害に関する情報なし。

## 6. 気象庁の対応

○13日9時30分に気象庁災害対策本部会議を開催

○今回の地震について、気象庁機動調査班(JMA Mobile Observation Team:JMA-MOT)を現地派遣

○14日に開催される地震調査委員会(臨時会)で、気象庁から地震の状況を報告。

○震度5強以上を観測した淡路市及び南あわじ市において、地震による地盤の緩みを考慮し、土砂災害警戒情報発表基準及び大雨警報・注意報の発表基準を引き下げて運用

○神戸海洋気象台から兵庫県及び淡路島3市(淡路市、洲本市、南あわじ市)に対して気象支援資料を提供

## 7. 一般被害等(消防庁4月14日 19:30)

重傷7名(兵庫5名、大阪1名、福井1名) 軽傷19名(兵庫12名、大阪4名、岡山1名、徳島2名)

## 8. 所管施設等の状況

○河川(4月14日8:00現在)

震度5弱以上の区域において近畿地整及び四国地整管内の以下の河川で点検。

国管理河川:吉野川水系吉野川、旧吉野川、今切川において点検終了。異常なし。

県管理河川 大阪府、兵庫県、香川県、徳島県において点検終了し。異常なし。

震度4以上の区域において近畿地整の以下の堰等で点検。

紀の川大堰：点検終了 異常なし

加古川大堰：点検終了 異常なし

淀川大堰：点検終了 異常なし

○ダム(4月14日8:00現在)

近畿地整・中国地整・四国地整管内の直轄1ダム、水機構3ダム、補助25ダム、利水18ダムが点検対象。

震度6弱の区域に所在する補助5ダム、利水8ダムについて、二次点検まで終了し、異常等の報告なし。

震度5弱の区域に所在する補助5ダムについて二次点検まで終了し、異常等の報告なし。その他のダムについても、二次点検まで終了し、現在のところ異常等の報告なし。

【震度6弱の区域】

補助ダム(5)[兵庫県：●牛内ダム、●北富士ダム、●大日ダム、●諭鶴羽ダム、●成相ダム]

利水ダム(8)[兵庫県内：●本庄川ダム、●鮎屋川ダム、●大日川ダム、●谷山ダム、●竹原ダム、●猪ノ鼻ダム、●猪ノ鼻第2ダム、●常盤ダム]

【震度5弱の区域】

補助ダム(5)[香川県：●粟地ダム、●吉田ダム、●千足ダム、●五名ダム、●内海ダム]

【震度4の区域】

直轄ダム(1)[吉井川水系：●坂根堰]

水機構ダム(3)[淀川水系：●日吉ダム][吉野川水系：●今切川河口堰、●旧吉野川河口堰]

補助ダム(15)[和歌山県：●広川ダム][大阪府：●狭山池ダム][香川県：●殿川ダム、●大内ダム、●大川ダム、●門入ダム、●長柄ダム、●田万ダム][岡山県：●八塔寺川ダム][兵庫県：●安富ダム、●菅生ダム、●石井ダム、●但東ダム、●天王ダム、●安室ダム]

利水ダム(10)[和歌山県内：●島ノ瀬ダム][岡山県内：●尾坂ダム][京都府内：●豊富ダム][兵庫県内：●糞屋ダム、●鴨川ダム、●吞吐ダム、●丸山ダム、●神谷ダム、●立ヶ畑ダム][大阪府内：●滝畑ダム]

●印のダムは、二次点検まで終了したダム。

○土砂災害(4月15日13:00現在)

●現時点で土砂災害の被害情報なし

●点検状況

【直轄】

・紀伊山地砂防事務所

点検完了 異常なし

・六甲砂防事務所

点検完了 異常なし

【都道府県】

兵庫県 点検完了 異常なし

大阪府 点検完了 異常なし

徳島県 点検完了 異常なし

香川県 点検完了 異常なし  
京都府 情報収集中 現在異常なし  
奈良県 点検完了 異常なし  
和歌山県 点検中 現在異常なし  
岡山県 点検完了 異常なし

●平成23年台風第12号による大雨で生じた河道閉塞の状況

・土砂災害防止法に基づく緊急調査を実施している河道閉塞5箇所について、大きな変状、施設被害等はなし

●土砂災害警戒情報の発表状況等

・現在、発表されている地域は無し

・今回の地震にともなう地盤のゆるみを考慮し、今後の雨に伴う土砂災害に警戒するための発表基準を引き下げて運用

淡路市 6割 (震度6弱)

南あわじ市 8割 (震度5強)

●土砂災害危険箇所等

・揺れが大きかった兵庫県淡路市(震度6弱)、南あわじ市(震度5強)及び震源に近い洲本市(震度5弱)の土砂災害危険箇所(「土砂災害警戒区域」を含む)について、点検等を実施した結果、異常なし

兵庫県淡路市、南あわじ市、洲本市の土砂災害危険箇所 1,256箇所  
(うち土砂災害警戒区域 1,232箇所)

○道路(4月15日13:00現在)

【本四(神戸淡路鳴門自動車道)】……全区間車両通行可能、第三者被害無し

・全区間(神戸西～鳴門)速度規制解除(13日11:05)

・被災報告有り:遮音壁(板)の一部が落下(5カ所)、撤去・回収済、車両通行に支障なし、第三者被害無し

【NEXCO西日本関係】……全区間車両通行可能、第三者被害無し

・全区間規制解除(13日7:46)

・被災報告なし

【阪神高速】……全区間車両通行可能、第三者被害無し

・全区間規制解除(13日7:00)

・被災報告なし

【直轄】……全区間点検完了、第三者被害無し

・中国地整(13日8:20点検完了)、四国地整(13日7:55点検完了)、近畿地整(13日11:25点検完了)

・被害報告:3件 →1件復旧作業中

→国道28号(兵庫県淡路市志筑)において、民家のブロック塀がガードレールに倒れかかっていたが、ブロック撤去完了(4/13,13:05～歩道通行可能)

→国道28号(洲本市炬口)において、路面下の水道管が破裂し路面に漏水があったが、復旧完了(14日4:50)。

→国道28号(洲本市炬口)において(上記箇所の約100m北側)、路面下の水道管が破裂し路面漏水。片側交互通行規制により復旧作業開始(14日16:40～)。8:00頃作業完了見込み

→国道28号(洲本市炬口)において(上記箇所の約100m北側)、路面下の水道管が破裂し路面漏水があったが、復旧完了(15日9:37)。

【補助国道】……点検完了、第三者被害無し

・被害報告無し

【都道府県道】……点検完了、第三者被害無し

・被害報告:2件

→県道534号<sup>ハタダ</sup>畑田組塚町線<sup>グミサカエマテセン</sup>(兵庫県洲本市鮎屋)において落石、孤立集落無し

※行き止まり道路で、民家等は無し。復旧未定

→県道481号<sup>アイカワシモシズ</sup>相川下清水線<sup>セン</sup>(兵庫県洲本市千種)において落石、孤立集落無し

※行き止まり道路で、民家等は無し。復旧未定

○海岸(4月15日5:30現在)

・直轄海岸

兵庫県<sup>スモトシ</sup>の東播海岸:点検終了。異常なし。

・補助海岸

大阪府、和歌山県、兵庫県、岡山県、香川県、徳島県:点検終了。異常なし。

○鉄道(4月15日13時00分現在)

・新幹線・在来線ともに被害情報なし。

・運転休止路線なし。

○自動車(4月15日13時00分現在)

【バス・タクシー関係】

・被害情報なし

【トラック関係】

・被害情報なし

【自動車道・バスターミナル】

・被害情報なし

【整備関係】

・被害情報なし

○港湾(4月15日13時00分現在)

・兵庫県津名港志築地区(淡路島)にて、岸壁(物揚場)が延長190mに渡り全面に傾き、背後のコンクリート床版との継ぎ目に5cm程度の隙間及び段差(盛り上がり)が生じている状況。現在被災した段差箇所を解消するため応急措置を検討中。その間、バリケードによる立ち入り制限をかけている。なお、当該施設は小型船の船溜まり場として利用されているため、施設利用には支障はない。

○海事(4月15日13時00分現在)

・所管施設等に被害情報なし。

・船舶の運航に被害情報なし。

○空港(4月15日13時30分現在)

・空港被害情報なし

○物流関係(4月15日13時00分現在)

- ・被害情報なし

○下水道(4月15日13:00時点)

- ・大阪府岬町、兵庫県淡路市、南あわじ市、洲本市、徳島県鳴門市、香川県東かがわ市:  
点検終了、異常なし
- ・大阪府南大阪湾岸流域下水道:大阪府湾岸南部水みらいセンター(泉南市)において、  
返送汚泥ポンプ用配管の脱落(予備ポンプを稼働し、施設運転に影響なし、4/15本復旧予定)

○公園(4月15日 13:00現在)

- ・国営公園(淀川河川公園、国営明石海峡公園、国営讃岐まんのう公園)について、被害なし。

(13日から通常どおり開園)

・徳島県 鳴門総合運動公園

(陸上競技場):メインスタンド階段の蹴上げコンクリート剥離(4箇所)、南・北通用口の床継ぎ目に段差

(野球場):3塁側選手出入口通路に段差

※淡路市の埋立地にあるワールドパークONOKOROで液状化現象が見られたと報道があったが、  
当該施設は都市公園ではない。なお、建物・遊具等への被害はない模様。

○宅地(4月15日 13:00現在)

- ・宅地の液状化について、兵庫県において、昨日(14日)、淡路市、洲本市及び南あわじ市における被災宅地危険度判定のための予備調査を行った結果、
  - ①宅地に関する大きな被害は無し。(練積みブロック擁壁にてクラック発生1箇所あり。)
  - ②臨海部の埋め立て地(非住宅地)において数箇所液状化が見られたが、宅地においては液状化被害は見られない。
  - ③上記を受け、被災宅地危険度判定は実施しない。
- との報告を兵庫県より受けている。
- ・顕著な液状化現象が見られた場所は現在のところ淡路市、志筑地区の埋立地に集中している。  
液状化の状況と地盤データを把握、今後の全国の宅地液状化被害の予防対策等に活用するため、  
国土交通省職員を現地に派遣するよう兵庫県と調整中。

○官庁施設(4月15日 5:30現在)

- ・被害情報なし

○住宅・建築物(4月15日13:00現在)

- ・公営住宅・UR賃貸住宅被害情報なし
- ・エレベーター閉じ込め被害3件(人的被害なし)
- ・被災建築物応急危険度判定

洲本市、淡路市において15日から被災建築物応急危険度判定を実施。

○観光関係(4月15日 13:00現在)

- ・一部ホテルにおいて照明器具等が破損(人的被害情報なし)

○電気通信関係(4月13日 13:30現在)

- ・所管施設に異常なし

## 淡路島付近を震源とする地震について

※これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

平成25年4月15日  
16時00分現在  
内閣府

### 1. 地震の概要（気象庁情報（暫定値））

- (1) 発生日時：平成25年4月13日5:33  
 (2) 震源地：兵庫県淡路島付近（北緯34度25.1分、東経134度49.7分）  
 (3) 震源の深さ：15km  
 (4) 規模：M6.3  
 (5) 各地の震度（震度5弱以上）  
     震度6弱：兵庫県淡路市  
     震度5強：兵庫県南あわじ市  
     震度5弱：大阪府岬町、兵庫県洲本市、徳島県鳴門市、香川県東かがわ市、小豆島町  
 (6) 津波の予警報の発表状況  
     なし

### 2. 余震の見通し

地震発生直後に比べ余震の数は減ってきているが、地震発生から1週間程度は、最大震度5弱程度の余震の発生に注意が必要

### 3. 人的・物的被害の状況（消防庁：4月15日15:00現在）

都道府県名	人的被害				住家被害						非住家被害	
	死者 人	行方不明者 人	負傷者		全壊 棟	半壊 棟	一部破損 棟	床上浸水 棟	床下浸水 棟	計 棟	公共建物 棟	その他 棟
			重傷 人	軽傷 人								
福井県			1									
大阪府			1	4			4			4		
兵庫県			5	12		26	1,786			1,812		8
岡山県				1								
徳島県				2			1			1		
合計			7	19		26	1,791			1,817		8



(1) 人的被害

- ・ 福井県 (重傷者 1)
  - 敦賀市 : 重傷者 1
- ・ 大阪府 (重傷者 1、軽傷者 4)
  - 堺市 : 軽傷者 2
  - 茨木市 : 軽傷者 1
  - 摂津市 : 軽傷者 1
  - 大阪狭山市 : 重傷者 1
- ・ 兵庫県 (重傷者 5、軽傷者 12)
  - 神戸市 : 軽傷者 1
  - 姫路市 : 軽傷者 1
  - 明石市 : 重傷者 1、軽傷者 1
  - 洲本市 : 軽傷者 6
  - 伊丹市 : 重傷者 1
  - 三木市 : 重傷者 1
  - 南あわじ市 : 重傷者 1、軽傷者 1
  - 淡路市 : 重傷者 1、軽傷者 2
- ・ 岡山県 (軽傷者 1)
  - 岡山市 : 軽傷者 1
- ・ 徳島県 (軽傷者 2)
  - 徳島市 : 軽傷者 1
  - 阿南市 : 軽傷者 1

(2) 物の被害

○住家被害(1,817 棟)

- ・ 半壊 (26 棟)
  - 兵庫県洲本市 : 26 棟
- ・ 一部破損 (1,791 棟)
  - 大阪府 (4 棟)
    - 阪南市 : 4 棟
  - 兵庫県 (1,786 棟)
    - 洲本市 : 1,222 棟
    - 明石市 : 1 棟
    - 南あわじ市 : 55 棟
    - 淡路市 : 508 棟
  - 徳島県 (1 棟)
    - 北島町 : 1 棟

○非住家被害

- ・ 半壊 (8 棟)
  - 兵庫県洲本市 : 8 棟

4. 避難の状況（消防庁：4月15日15:00現在）

（1）避難指示・勧告：発令なし

（2）避難所の状況

・兵庫県洲本市（洲本市総合福祉会館）

13日 5:55 開設

7:00 閉鎖

18:50 再開設（継続中）

15日 14:30 現在 2世帯2名が自主避難中

・兵庫県南あわじ市（西淡町松帆活性化センター）

13日 7:00 開設

8:00 閉鎖

5. 原子力発電所関係（原子力規制庁：4月13日6:45現在）

原発関連施設について、異常情報なし

6. その他の被害状況

（1）電力関係（経済産業省：4月13日15:00現在）

・関西電力(株)：設備被害等なし

・四国電力(株)：設備被害等なし

・中国電力(株)：設備被害等なし

・電源開発(株)：設備被害等なし

（2）都市ガス（経済産業省：4月13日15:00現在）

・被害情報なし。引き続き、被害情報収集中

（3）LPガス（経済産業省：4月13日15:00現在）

・被害情報なし。引き続き、被害情報収集中

（4）簡易ガス（経済産業省：4月13日15:00現在）

・兵庫県の簡易ガス事業者特定製造所内の感震自動遮断装置が作動し  
合計3社6団地で供給停止（計800戸程度）。全て復旧済み。

(5) 水道関係 (厚生労働省 : 4月15日 13:00 現在)

・ 全て復旧済み

県、市町村名	最大 断水戸数	現在の 断水戸数	断水期間	被害状況
兵庫県 洲本市 淡路市  淡路市 (簡易水道) 南あわじ市	26 戸 断水なし  50 戸 3 戸	復旧済み 断水なし  復旧済み 復旧済み	H25. 4. 13~  H25. 4. 13~ H25. 4. 13~ H25. 4. 14	配水管損傷 配水管損 (断水なく復旧作業完了) 配水管損傷 復旧作業により夜間一時的 に断水
大阪府 東大阪市 門真市 大阪市	約 80 戸 2 戸 15 戸	復旧済み 復旧済み 復旧済み	H25. 4. 13 H25. 4. 13 H25. 4. 13	緊急遮断弁作動による断水 配水管破損 配水管損傷
徳島県 阿南市	29 戸	復旧済み	H25. 4. 13	配水管損傷
	計約 205 戸	計 0 戸		

(6) 通信関係 (総務省 : 4月15日 15:00 現在)

・ 特段の被害なし

(7) 放送関係 (総務省 : 4月15日 15:00 現在)

・ 特段の被害なし

(8) 土砂災害 (国土交通省 : 4月15日 13:00 現在)

・ 現時点で、土砂災害の被害情報なし

(9) 道路 (国土交通省 : 4月15日 13:00 現在)

○高速道路

- ・ 本四橋 (神戸淡路関門自動車道) :  
全区間 (神戸西~鳴門) 速度規制解除 (4月13日 11:05)。  
遮音壁の一部が落下 (5箇所)、車両通行に支障なし
- ・ NEXCO西日本関係 :  
全区間規制解除 (4月13日 7:46)。路上点検完了、被災報告なし
- ・ 阪神高速 :  
全区間規制解除 (4月13日 7:00)。路上点検完了、被災報告なし

○直轄国道

- ・被害 3 件（復旧済み）
- ・国道 28 号線（淡路市志筑）において、民家のブロック塀がカードレールに倒れ掛かっていたが、ブロック撤去完了（4 月 13 日 13:05～歩道通行可）
- ・国道 28 号線（洲本市炬口）において、路面下の水道管破裂、路面に漏水があったが、復旧完了（4 月 14 日 4:50）
- ・国道 28 号（洲本市炬口）において（上記箇所の約 100m 北側）、路面下水道管が破裂し路面漏水があったが、復旧完了（4 月 15 日 9:37）

○都道府県管理国道

- ・報告被害なし

○都道府県道

- ・被害 2 件
- ・兵庫県道 534 号線畑田組塚町線（兵庫県洲本市鮎屋）において落石、孤立集落なし。（行き止り道路で民家等はなし。復旧未定。）
- ・県道 481 号相川下清水線（兵庫県洲本市千種）において落石、孤立集落無し。行き止まり道路で民家等無し。復旧未定

(10) 鉄道（国土交通省：4 月 15 日 13:00 現在）

- ・新幹線、在来線ともに被害情報なし
- ・現在、運転休止路線なし

(11) 農林水産関係（農林水産省：4 月 15 日 14:00 現在）

区分	主な被害	被害数	被害額 (百万円)	被害地域 (現在1県から報告あり)
農作物等	プロイラーの圧死	1,693羽	調査中	兵庫県
	ガラス温室の損傷	15棟	調査中	兵庫県
	家畜市場の損傷	1箇所	調査中	兵庫県
小計			調査中	
農地・農業用施設関係	農業用施設の損壊（ため池）	12箇所	調査中	兵庫県
小計			調査中	
水産関係	漁船	3隻	調査中	兵庫県
	漁港	8漁港	調査中	兵庫県
	共同利用施設（荷捌き施設）	1棟	調査中	兵庫県

小計			調査中	
合計			調査中	

注：被害については、現時点で判明しているものを記載しており、引き続き調査中。

(12) 文教施設等（文部科学省：4月15日14:00）

区分	被災箇所数
国立学校施設	
公立学校施設	37
私立学校施設	4
社会教育・体育、文化施設等	
文化財	
研究施設等	
計	41

※主な被害状況：グラウンド亀裂発生、天井ボード落下、壁ひび割れ 等

※現在のところ、休校等の情報なし

(13) 病院等関係（厚生労働省：4月15日13:00）

・現在のところ、特段の被害報告なし

(14) 社会福祉施設関係（厚生労働省：4月15日13:00）

・兵庫県から49カ所で壁のひび割れなどの被害あり(人的被害報告なし)

(15) その他

○宅地（国土交通省：4月15日13:00現在）

・宅地の液状化について、兵庫県において14日に淡路市、洲本市及び南あわじ市における被災宅地危険度判定のための予備調査を行った結果について、以下のとおり報告があった。

①宅地に関する大きな被害は無し（練積みブロック擁壁にてクラック発生1箇所あり）

②臨海部の埋め立て地（非住宅地）において数カ所液状化が見られたが、宅地においては液状化被害は見られない。

③上記を受け、被災宅地危険度判定は実施しない。

・顕著な液状化現象が見られた場所は現在のところ淡路市、志筑地区の埋立地に集中。

○住宅・建築物（国土交通省：4月15日13:00現在）

・兵庫県洲本市、淡路市において15日から被災建築物応急危険度判定を実施。

○港湾施設（国土交通省：4月15日 13:00 現在）

- ・兵庫県津名港志築地区（淡路島）にて、岸壁（物揚場）が延長190mに渡り全面に傾き、背後のコンクリート床版との継ぎ目に5cm程度の隙間及び段差（盛り上がり）が生じている状況。

現在被災した段差箇所を解消するため応急措置を検討中。その間、バリケードによる立ち入り制限をかけている。

なお、当該施設は小型船の船溜まり場として利用されているため、施設利用には支障はない。

○がれきの発生状況（環境省：4月15日 14:00 現在）

	洲本市	淡路市	南あわじ市
仮置場の設定	市内3か所に設置	市内1か所に設置	市内処分場で受付
がれきの発生状況	集計中 (300件程度の持込みあり)	集計中 (77件程度の持込みあり)	11トン (4件の持込みあり)
廃棄物の種類等	瓦、土壁、ブロック塀、家財道具、陶器類	瓦、土壁、ブロック塀、家財道具、陶器類	瓦、土壁、ブロック塀、家財道具、陶器類

7. 政府の主な対応

- ・官邸対策室設置、緊急参集チーム招集(4月13日 5:36)

- ・総理指示(4月13日 5:40)

- ① 被害情報の確認に万全を期すこと
- ② 被害者の救出・救助活動に全力を尽くすこと

- ・緊急参集チーム協議(4月13日 6:10~7:00)

(確認事項)

- ①被害情報の収集に万全を期すとともに、人命救助を第1義とし、住民の避難、被災者の救援救助活動に全力を尽くす。
- ②被害の状況に応じ、緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊、自衛隊の災害派遣部隊、海上保安庁の救援救助部隊、災害医療派遣チーム(D-MAT)等による被災地への広域応援を行い、被災者の救援・救助をはじめとする災害応急対策に万全を期す
- ③災害応急対策の実施にあたっては、自治体と緊密な連携を図る
- ④被災地の住民をはじめ、国民や地方自治体、関係機関が適切に判断し行動できるよう、的確に情報を提供する。

- ・緊急参集チーム協議再開(4月13日 8:58~9:08)

- ・ 第1回関係省庁災害対策会議を開催し、以下の対処方針を確認した。  
(4月13日13:00)
  - ①引き続き早急な被害状況の把握を行い、関係機関の情報共有を図ること
  - ②更なる被害の拡大の防止に万全を期すこと
  - ③被災県、関係市町村と連携し、災害応急対策につき、政府一丸となった対応を行うこと
- ・ 第2回関係省庁災害対策会議を開催し、被害状況及び各省庁の対応状況について情報共有を行った(4月13日17:00)
- ・ 第3回関係省庁災害対策会議を古屋内閣府特命担当大臣(防災)、西村内閣府副大臣出席(防災担当)のもと4月15日17:00から開催予定。

## 8. 各府省庁の対応

### ①内閣府の対応

- ・ 内閣府災害対策室設置(4月13日5:35)
- ・ 古屋内閣府特命担当大臣(防災)から西村内閣府副大臣(防災担当)に現地調査を行うよう指示(5:37)
- ・ 西村内閣府副大臣(防災担当)が6:45からの兵庫県災害対策本部会議に出席。その後、兵庫県知事と淡路島を現地調査
- ・ 古屋内閣府特命担当大臣(防災)が兵庫県知事及び西村内閣府副大臣(防災担当)と電話で情報交換(7:15)
- ・ 現地調査のため職員3名を派遣(8:10)。古屋内閣府特命担当大臣(防災)から西村内閣府副大臣(防災担当)と合流し、現地調査を行うよう指示
- ・ 古屋内閣府特命担当大臣(防災)と兵庫県知事との間でテレビ会議を実施(10:37~10:45)
- ・ 西村内閣府副大臣(防災担当)が現地調査を実施(4月13~14日)
- ・ 「平成25年4月13日に発生した淡路島付近を震源とする地震による被災者の支援について(平成25年4月13日付事務連絡)」を大阪府、兵庫県、徳島県、香川県に発出。(4月13日)

### ②警察庁の対応

- ・ 警備局長を長とする災害警備本部を設置
- ・ 中国、中部管区内の広域緊急援助隊が出動待機(4月13日9:15解除)

### ③消防庁の対応

- ・ 消防庁災害対策本部(継続中)
- ・ 兵庫県から緊急消防援助隊の要請なし。出動準備を解除(4月13日8:00)

④海上保安庁の対応

- ・海上保安庁対策本部を設置(4月13日 5:36)
- ・巡視船艇 29 隻、航空機 4 機による被害状況調査終了、被害に関する情報なし(4月13日)
- ・兵庫県の災害対策本部に職員 1 名派遣(4月13日)
- ・巡視船艇及び航空機を即応態勢とし、被害情報を収集中(4月14~15日)

⑤防衛省の対応

- ・航空機 15 機により情報収集を実施。被害は確認されなかった。(4月13日)

⑥総務省の対応

- ・総務省非常災害対策本部(継続中)

⑦経済産業省の対応

- ・職員を兵庫県淡路市に派遣し、中小企業関係被害情報収集を実施(4月13日)

⑧文部科学省の対応

- ・文部科学省災害情報連絡室設置(4月13日 7:10)
- ・兵庫県、大阪府、徳島県、香川県教育委員会に対し、児童生徒等の安全確保と文教施設の被害状況の把握、二次災害防止を要請(4月13日 7:12)

⑨農林水産省の対応

- ・農業用施設の現地調査のため、近畿農政局の職員 8 名を派遣(4月13日)
- ・連絡調整のため、近畿農政局の職員 3 名を兵庫県庁に派遣(4月13日)
- ・農業用施設の現地調査のため、農林水産本省担当官 2 名、近畿農政局の職員 2 名及び農村工学研究所の専門家 2 名を派遣(4月15日)

⑩国土交通省の対応

- ・国土交通本省非常体制(4月13日 5:33)
- ・淡路島付近を震源とする地震に関する災害対策本部設置(4月13日 5:33)
- ・災害対策用ヘリコプター(四国、九州地整)により TEC-FORCE(先遣隊)が淡路島上空を調査(4月13日)
- ・近畿地方整備局より、兵庫県庁、洲本市、淡路市、南淡路市へ計 8 名リエゾンを派遣(4月13~14日)
- ・(独)土木研究所より、洲本市州浜橋の被害に関し、16日に専門家 2 名を派遣予定



⑪気象庁の対応

- 気象庁非常体制（4月13日5:33）
- 記者会見（4月13日7:30）
- 震度6弱から5弱が観測された地域を中心に大阪管区気象台、神戸管区気象台、高松地方気象台から気象庁地震機動調査班（JMA-MOT）を派遣
- 淡路市及び南あわじ市の土砂災害警戒情報発表基準及び大雨警報・注意報の発表基準を引き下げて運用
- 神戸海洋気象台から兵庫県及び淡路島3市（淡路市、洲本市、南あわじ市）に対して気象支援資料を提供